

妖怪画談

—妖怪のイラスト・妖怪学・怪談—

平成11年1月6日～1月22日

百鬼夜行、山海經、魔女、モンスター。古今東西妖怪は人々を魅了してきました。蛍光灯がビルの中をくまなく照らす時代になっても、妖怪は人々のうわさ話から消えることはありません。人々は妖怪を恐れながら、なおかつ大きな興味を持ってその姿を描き、生態を書きとどめ、研究の対象にしようとさえします。その魅力はどこにあるのでしょうか。当館の資料から妖怪をご紹介します。

展示資料一覧

<>内は当館請求記号

*** I. 絵画にみえたる妖怪***

妖怪は人々の想像力をかきたてます。そのヴァリエティに富んだ姿は絵画の格好な材料でした。ここではイラストに表現された妖怪達を、昔から現代までとりあげます。

【日本の妖怪】

1. 絵画に見えたる妖怪

吉川観方編

<721-Y89ウ>

京都 美術図書出版部 大正15(1926)年

2. 妖怪画談全集

東京 中央美術社 昭和4-5(1929-30年)

<598-12>

第1編 日本篇 上(藤沢衛彦編)

3. にっぽん妖怪地図

- 阿部正路、千葉幹夫著 <GD38-G24>
東京 角川書店 1996.12
山に出る妖怪、家に住む妖怪、等々場所によって妖怪を分類する。絵が豊富。巻末の「日本妖怪出現年表」が秀逸。
4. 水木しげるの妖怪伝大画集 <GD38-G33>
水木しげる著
東京 新紀元社 1998.3
水木しげるのユーモラスな妖怪画が327枚収められている。
5. 化物語 妖怪奇変 <YDM94944>
杉浦野外坊著
東京 磯部甲陽堂 明40(1907年)
6. 図説日本の妖怪 <GD38-E30>
近藤雅樹編 監修：岩井宏実
東京 河出書房新社 1990.7
7. 怖いお話し不思議なはなし 現代の妖怪と異界 <KG745-E70>
日本民話の会編
東京 童心社 1993.11(民話の手帖)
8. もののけ 描かれた妖怪たち <GD38-G34>
富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館編
富岡 富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館 1997.10
参考文献あり。富岡市立美術博物館での展示図録。
9. 幽霊とおばけ 伝説心理 <387-92>
高峰博著
東京 洛陽堂 大正8(1919年)
日本の船幽霊と西洋の船幽霊の比較図。
- 【中国の妖怪】
10. 妖怪画談全集 <598-12>
東京 中央美術社 昭和4-5(1929-30年)
第3編 支那篇(過耀良編)
-

11. 中国魔物図鑑 チャイニーズ・モンスター
KZ和神文 末弥純〔ほか〕絵 <KK392-G2>
横浜 光栄 1995.3
下巻 幻獣・幻鳥から怪魚まで

【西洋の妖怪】

12. 妖怪画談全集
東京 中央美術社 昭和4-5(1929-30年) <598-12>
第2編 ロシア、ドイツ篇(ワノフスキー編 中央美術社訳)
13. モーンストルム
東京 トレヴィル 1993.8 (ヌオボ・クラッシコ・シリーズ) <KC16-E2516>
1 テンタチオ 誘惑する妖怪たち

*** II. 妖怪学考 ***

妖怪は古くから研究の対象にもなっていました。しかし戦前の「妖怪学」は妖怪を撲滅すべき迷信として扱っていました。井上円了などがその代表とされます。

それに対して柳田国男は、妖怪学を民俗学の一分野として位置づけました。現在妖怪学はその流れを汲み、社会学的・民俗学的に研究されています。

今日、妖怪関係の出版物は増え、辞典類もたくさん発行されています。

14. 妖怪叢書
井上円了著 <356-154>
東京 丙午出版社 大正5(1916年)
内容：哲学うらなひ、改良新案の夢、天狗論、迷信解、といった論文集。

15. 妖怪談義
柳田国男〔著〕 <GD38-33>
東京 講談社 1977.4(講談社学術文庫)

妖怪学を民俗学に位置づけた、エポックメイキングな研究。「妖怪は出現する場所が決まっているが、幽霊はどこにでも現れる。妖怪は相手を選ばないが、幽霊の現れる相手は決まっている」と定義する。

16. 妖怪学入門 日本の妖怪・幽霊の歴史
阿部主計著 <GD38-9>
改訂増補 東京 雄山閣出版 1971
17. 魔の系譜
谷川健一著 <GD38-7>
東京 紀伊国屋書店 1971
妖怪の歴史を日本の歴史から考証する。
18. 学校の怪談 口承文芸の展開と諸相
常光徹著 <KG745-E63>
京都 ミネルヴァ書房 1993.2 (Minerva21世紀ライブラリー3)
現代社会における妖怪の語り手は子供であり、妖怪達の舞台は学校になった。
19. 妖怪
東京 明治大学人文科学研究所 1987 (明治大学公開文化講座 6) <K19-E2>
20. 憑霊信仰論 妖怪研究への試み
小松和彦著 <GD38-62>
増補 東京 ありな書房 1984.8
妖怪の一形態である憑き物についての研究。
21. 妖怪の民俗学 日本の見えない空間
宮田登著 <GD38-61>
東京 岩波書店 1985.2 (旅とトポスの精神史)
現代都市における妖怪の空間とは。実生活の中の妖怪を考察する。参考文献有。
22. 中世の妖怪、悪魔、奇跡
クロード・カプレール〔著〕 幸田礼雅訳 <G189-G32>
東京 新評論 1997
文献あり、索引あり
- 【妖怪事典各種】
23. 日本妖怪博物館
草野巧、戸部民夫共著 <GD38-E89>
東京 新紀元社 1994.8 参考文献：p355～359
-

24. 水木しげるの憑物百怪
水木しげる著 <GD38-G3>
東京 学習研究社 1995.11
25. 西洋魔物図鑑
江口之隆著 <G189-G24>
東京 翔泳社 1996.11
26. 水木しげるの中国妖怪事典
水木しげる著 <KK392-E3>
東京 東京堂出版 1990.10 参考文献：p202
- 【妖怪への旅】
27. アジアもののけ島めぐり 妖怪と暮らす人々を訪ねて
林巧著 <G189-G29>
東京 同文書院 1997.5
28. ヨーロッパ・ホラー紀行ガイド
荒俣宏著 <G189-G14>
東京 講談社 1996.7
29. 日本妖怪巡礼団
荒俣宏著 <GD38-E45>
東京 集英社 1991.12 (集英社文庫)

Ⅲ. 怪談・妖怪物語

ここでは物語としての妖怪を取り上げます。地方ごとの特徴ある妖怪の話や文学・芸能などに物語られる妖怪です。

【民話に見る妖怪】

30. 続妖怪百談
井上円了著 <80-51>
東京 哲学書院 明治33.4

31. 妖怪府
加藤鉄太郎著 <特13-759>
東京 秀英舎 明治18.3
中国の昔話を物語として綴った本。
32. 東京の民話
中村博著 <KH22-425>
東京 一声社 1979.6
33. 埼玉夜話
まつやま書房 1980.9 <KH22-533>
34. 土佐の妖怪
市原麟編 <KH22-350>
一声社 1977.5
35. いわて妖怪こぼなし
藤沢美雄著 <KH22-537>
津軽書房 昭和56.1
- 【小説に見る妖怪】
36. 現代怪談集成
中島河太郎・紀田順一郎編 <KH6-E274>
東京 立風書房 1993.7
小泉八雲・泉鏡花ら 38 人による怪奇作品集。
37. 本所深川ふしぎ草紙
宮部みゆき著 <KH366-E366>
東京 新人物往来社 1991.4
38. 陰陽師
夢枕獏著 <KH753-E29>
東京 文芸春秋 1988.8
平安時代の陰陽師、安倍晴明を主人公にした小説。

39. 小泉八雲秘稿画本 妖魔詩話

小泉八雲著

<425-138>

東京 小山書店 昭和9.9

日本の代表的妖怪(狐火・ろくろ首等)を小泉八雲が直筆のイラストと共に5・7・5・7・7の俳句形式の詩を寄せたもの。

【映画に見る妖怪】

40. 心霊怪奇博物館

山田誠二著

<KD651-G22>

東京 データハウス 1995.11

41. ムービー・モンスターズ

プレイガイドジャーナル社 1980.2

<KD651-76>

海外の映画に出てくる妖怪(ゾンビ・吸血鬼・狼男等)を映画のあらすじとともに紹介するもの。

42. 怪奇映画の手帖

菊池秀行著

<KD651-E185>

幻想文学出版局 1993.9

〈参考文献〉

妖怪学新考 妖怪からみる日本人の心

小松和彦著 東京 小学館 1994.8

<GD38-E84>

◎請求記号がYDMではじまる資料は、マイクロ資料でのご利用になりますので、展示期間中でもご利用になれます。

国立国会図書館 03-3581-2331(代)

ホームページアドレス <http://www.ndl.go.jp>

■国立国会図書館 ■□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□■03(3581)2331■